



知覧町 郡

川床 二男

南薩縦貫道で三町の
絆がっちりと

縦貫道の話は、何年も前からあったのですが、ここまでには、長い年月が経っております。

川辺ダムから川辺の町まで建設され、これから川辺の田んぼの上を通り、山にトンネルを開けて下郡北から下郡南の上に出て、木佐貫原の台地に出てくるそうです。

東に母ヶ岳、南に開聞岳、北に金峰山を眺められる、特攻平和会館に近い、新町という集落に住んでおります。

ここは、知覧飛行場のあったところです。

現在は、広々と整地された畑にさつまいもや野菜などが植えられております。

この大地に、いよいよ南薩縦貫道の建設が始まるうとしています。建設のコースも決まっているというところで、集落では、どんな道路が建設されるのだろうかと期待してい



知覧町 牧之内

下窪 健一郎

今後の南九州市の
茶業に思うこと

私が、茶業の仕事に就いて早いもので14年になります。しかし、所得は年々減っていき、就農時に比べて、半分くらいになっていきます。その対応として、面積拡大、ISO90001取得、KGA P取得などしています。近年機械化が進み、周囲からは楽に感じられがちですが、多額の投資を必要とする中、長引く景気低迷、消費者の茶離れ（リーフ茶）、資材の価格高騰など茶業界にとっては大きな課題があります。その中でも、こ

れは仕方のないことですが、天からのいたずらです。近年、茶の芽が動き出してから、凍害・霜害・潮風害・桜島の降灰など品質にかなりの影響を与えて農家を苦しめています。この中でも桜島の降灰がかなりの量で南九州市を襲い、私たち農家を苦しめました。南九州市のほとんどの茶工場に降灰対策の洗浄機がないため、畑での洗浄をしないといけない現状でした。

この降灰対策に対しては南九州市ブランド確立のために、早急に取り組まないといけないと思います。全国の茶業界を引っ張っていかねければならない南九州市です。で、品質の良いお茶を提供するのはもちろんのこと、経営の面でも、南九州市は凄いなと言われるよう、茶業界・行政一体となって考えていければと思います。

編集後記

憲法には地方自治のあり方が明記されている。「地方自治の本旨」に基づいて法律でこれを定めることとなっている。この「地方自治の本旨」とは一般的には、「団体自治」と「住民自治」といわれている。

いま今日、地方分権が進展する中で、住民自治の実現（民主主義）が要請されている。民主主義とは「民が主」の体制である。

「住民自治」とは行政を行う場合にその自治体の住民の意思と責任に基づいて行政を行うということだ。行政は、住民のものであり、首長のもではない。

鹿児島県知事選挙があった。住民自治のリーダーであって、支配者にはなつて欲しくない。

(亀甲)

▼広報編集委員会

委員長	峯 吉	勝 範
副委員長	田 畑	浩 一郎
委員	亀 甲	俊 博
	下 窪	一 輝
	西 次	雄 三
	吉 永	賢 三



知覧の秀花園（あじさい園）

※表紙のEMだんごについて

EM菌は80種類もの有用微生物の共生体で、もとは農業に利用する目的で開発されましたが、今では農業、畜産のみならず、医療や環境の改善などにも利用されています。写真のEMだんごは河川や池などの環境改善のために使用します。